



町の話題



水辺めぐりウォーキング 七滝山のブナ植林地をウォーキング

6月25日に水辺めぐりウォーキングが行われ、町内外から参加した20名が七滝山のブナ植林地から仏沢ため池までの7kmを歩きました。参加者は、七滝山で町内の小学生が植樹活動を行っていることや、涵養林で育まれた水が農業用水として使われていることなどの説明を聞きながら、思い思いのペースで仏沢ため池を目指しました。

ウォーキングは年配の方や運動が苦手な方にも気軽にできるスポーツです。今後の予定は広報紙等でお知らせしますので、お気軽にご参加ください。

町内3幼稚園・保育園 被災地の子どもたちに絵本と メッセージを贈りました

このたび、東日本大震災で被災し、自宅や避難所で本が不足している子どもたちに絵本を読んでもらおうと、町内3幼稚園・保育園の園児たちから集められた絵本約50冊を岩手県の7幼稚園に贈りました。秋田県国公立幼稚園PTA連絡協議会などが主催し、県内の23園がこの取り組みに参加しました。

6月27日には3園を代表して千畑幼稚園・保育園（なかよし園）で、出発式が行われ、絵本のほか園児らが被災地の子どもたちに向けて書いた励ましのメッセージが被災地に向かうトラックの運転手に託されました。



美郷町べごっこまつり 美郷産の牛肉はおいしいね!

7月2日に美郷町大台野広場イベント棟で、美郷町べごっこまつりが開催されました。

美郷産牛肉販売会には来場された皆さんが長蛇の列をつくったほか、会場に設けられた焼肉コーナーは多くの家族連れでにぎわいました。また、会場内では畑屋うさぎ共励会やうさぎレース、奥羽真屋太鼓の演奏など様々な催しが行われ、レースに参加した子どもたちに大きな声援が送られるなど、会場には楽しい笑い声が響いていました。

ラベンダーまつり 延べ4万6千人が初夏の美郷を満喫しました

6月25日から7月10日にかけて美郷町ラベンダー園が開園され、延べ4万6千人が園内一面に咲き誇るラベンダーを楽しみました。期間中はラベンダーの摘み取りを行う親子連れや、こぐまちゃん号に乗って楽しむ子どもたちの姿でにぎわいました。また、最終日には県内ご当地グルメを集めたイベントが行われ、ラベンダー園を訪れた観光客らが美郷まんまや美郷ため中などの味を楽しみました。

開園期間の後半は天候に恵まれ暑い日が続きましたが、訪れた皆さんは、青空の下に映える紫色の絨毯に初夏の美郷の自然を感じている様子でした。



ラベンダー募金へのご協力 ありがとうございます

期間中に実施したラベンダー募金には38,460円のご協力をいただきました。集まった募金はラベンダー園の維持管理に活用させていただきます。たくさんのご協力ありがとうございました。

ドリーム体験! ほんもの講座 劇団ひまわりの演劇を 楽しみました



6月28日に町公民館で「ドリーム体験! ほんもの講座」が行われ、町内の小学4・5年生、中学2・3年生が、劇団ひまわりの演劇を鑑賞しました。

この講座は、本物の演劇鑑賞を通じて児童生徒の感性を豊かにすることがねらいで、開演に先立ち後松教育長は「おもしろいときには大いに笑い、感動したら拍手をし、悲しかったら涙ぐむ、そんなドリームな時間にしてください」とあいさつを述べました。

公演は戦国時代の瀬戸内海を舞台とした『風の鈍兵〜極楽島海賊物語〜』。劇団ひまわりの皆さんが繰り広げるステージに児童生徒はもちろん、一般参加した町民の皆さんも夢中になって引き込まれていきました。

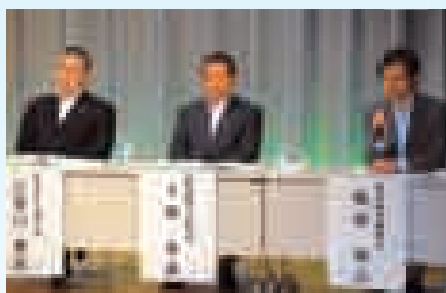
※ドリーム体験! ほんもの講座は、ふるさと美郷応援寄付(ふるさと納税)を活用しています。



風

「望ましい環境」

美郷町長 松田 知己



▲「名水サミットin美郷」パネルディスカッションで意見を述べる松田町長(写真右側)

「一途な努力は裏切らない」。信仰に近い私の思いの一つですが、先般、大相撲の華王錦がこの思いを現実にしてくれました。苦悩もあったでしょうが、精進を重ね、念願の関取です。あっぱれです。改めて華王錦の精神力に敬意です。

こうした精神力の鍛錬には、生きることの哲学とともに、取り巻く環境も大きな影響を及ぼすと私は思いますが、き

つと華王錦は、揺ぎない自らの人生観を持ちながら、育ててくれた周りの環境にも恵まれていたのだろうと思います。さて、こうした周りの環境の大切さはすべてに共通します。とりわけ教育は、環境が特に大切なことは申すまでもありません。そのため町では、少子化が進んでいる状況を踏まえ、望ましい子供の教育環境を見据えて小・中学校の学校再編を決定し、これまで準備を進めてきているところで、その上で今年度は、老朽化している六郷幼稚園・保育園(わくわく園)の新築作業にも着手いたします。

わくわく園については、かねてより耐震関係も含めて何らかの対応が必要でした。補修も選択肢ですが、望ましい教育環境を考えると、事業費は嵩みますが新築が望ましいとの判断に立ち、昨年度は新

築を前提に町内5カ所の候補地の調査を実施しております。その結果、中学生や高齢者との交流機会や建築しやすい土地条件などの観点から、現在の六郷中学校野球場に新築することに決定し、間もなく設計作業に入ります。ちなみに、六郷中学校野球場は狭くて基準を満たせないため、美郷中学校の野球部は美郷町野球場を利用することになっていきます。

孟子の母が孟子を育てる時、教育を考えて三度引っ越ししたことに由来する孟母三遷。やや広い解釈をすれば、わくわく園の移転新築もいわば教育環境を選ぶ点で共通です。選択した場所はきっと子供たちの教育・保育に良い影響がありますので、心豊かに成長できる新しくわくわく園の整備をめざしたいと思います。

さてさて、望ましい環境が大切なのは私も同じ。休みらしい休みを取れない私は、これから冷たいビールとお酒でしばしの安息環境を確保したいと思います。